

下肢末梢動脈疾患について

下肢末梢動脈疾患は、四肢の慢性動脈閉塞症の総称です。進行すると、組織に十分な血液と栄養が届かなくなり、壊疽や潰瘍による下肢の組織欠損が生じます。

当院では、慢性維持透析を実施している全ての患者さんに対し、下肢末梢疾患に関するリスク評価を行い、必要に応じ当院の専門診療科と連携しています。これにより、下肢末梢動脈疾患の重症化を未然に防いでいきます。

疑問や不安等がある場合、ご相談ください。

日立総合病院長